タウンミーティング議事録

1　日　　時

平成３０月１２月２２日（土）午後１時３０分から３時まで

2　場　　所

向小金福祉会館　大広間

3　参 加 者

（１）特別職等

井崎市長、石原副市長、後田教育長、志村上下水道事業管理者

（２）部 局 長

山田総合政策部長、湯浅市民生活部長、早川健康福祉部長、
秋元子ども家庭部長、武田都市計画部長、石野都市整備部長、
鈴木土木部長、前川学校教育部長

（３）事 務 局（秘書広報課）

中野課長、石川課長補佐、近藤係長、上林主事、金子臨時職員、
三好主任主事（記

4　来場者数

２３名

5　質疑回答

裏面のとおり

Q　市民

近年、豪雨が増えていますが、群馬県の水源のほうで豪雨があった場合、南流山や流山本町の地域では堤防が壊れると水害に遭う可能性があります。市の水害に対する意識、ＰＲが不足していると思います。

豪雨は夜にいきなりきます。また、南流山や流山本町の地域では、どこに逃げたらいいかわからない状況もあります。はっきり言って、防災無線が聞こえません。特に南流山は建物が建っているので輻輳（ふくそう）により音が重なって聞こえない状況もありますので、伝え方についても取り組んでほしいです。

A　市

ご指摘の点は重要な問題だと思っています。

南流山地域は洪水ハザードマップ等を公表しながら皆さまに危険度を周知しています。確かに周知方法が足りない点は考えなければなりませんが、出前講座等もお受けしておりますので、ご利用いただければと思います。また防災行政無線の改善についても今後考えていかなければならないと思っています。

Q　市民

私も課のほうに直接話しに行きましたが、対応がまずいと思ったからここでお話ししています。そのことをご理解ください。

A　市

防災無線は、確かに激しい雨や風があると聞こえませんので、安心メールのご登録をお願いします。安心メールは延べ約１０万件の登録があり、防災無線と同じ内容、あるいはより詳しい内容が手元に入りますので、様々な機会で安心メールにご登録いただくようお願いします。

豪雨は、地震や竜巻とは違って天候によりある程度予測ができますので、消防・消防団を通じて高台に避難、あるいは垂直避難するよう通知を行い、早めに避難していただくことが基本です。

国によれば、江戸川の堤防が決壊しないように、千葉県側と埼玉県側において内容の異なる対策をとっています。流山側は護岸整備をしているほか、堤防内の木々が水害時に流木となり大変危険だということで、これを伐採していくという説明がありました。

Q　市民

常総市の堤防が決壊したのは、想定以上の雨が流れて堤防を越流したためです。当然、江戸川や利根川も想定以上の降雨量があれば越流します。

今の回答は「想定雨量に対して堤防は大丈夫ですよ」と言っているだけですので、そのことは十分ご理解ください。（要望）

Q　市民

この４年間において、市長の行ったことは正しいのではないかなと思いますが、中にはおかしいなと思うこともあります。これは、これから５期目に入るのであれば、根本を固めて、優先順位をつけていただきたい。

また、広報ながれやま１２月２１日号に市の財政状況が掲載されますが、人件費とされる８６億円以外に９億円が眠っていますので、しっかりと公表しなければなりません。地方分権ですので、国の方針通りにする必要はありません。

我々は、贅沢は求めていません。安心、安全で長く住める流山市を作るのであれば我々も賛同します。

A　市

臨時職員の賃金を物件費の区分とすることは全国共通の取り扱いですが、臨時職員の賃金に相当する金額を人件費に加えた実質的な人件費に相当する金額を公開するようにしますので、もう少しお待ちください。

Q　市民

それはもう財政白書に出ていますが、物件費である「賃金」の区分になっています。市長の仕事は、国から外貨（交付金等の意か）を稼いでくること。自治会に挨拶するのは副市長がすればいい。（要望）

Q　市民

次の市長選も当選したら、風船（事業規模）を膨らまし続けるのか、口を縛るのか、それとも少しずつガス抜きして落ち着かせるのか、どちらを選びますか？

A　市

市の人口は、あと１万人程度は自然に増えますが、その後は人口減少時代を迎えますので、市政を拡大し続けるということは無いです。また、今は量よりも質の時代です。ＴＸ沿線は区画整理事業を行っていますので、税金や国の費用をつぎ込んで売れるようにしなければなりませんが、市全体としては拡大し続けるというよりは適正規模を保って質の高い市民生活､都市環境、教育、子育て環境、高齢者が安心して、または自立して生活できる、さらにその後の支援のできる、質の高い街づくりをしていくことが目標です。

Q　市民

長男が看護師をしており、会議が入ると連絡がとれなかったりするので、急に（保育所に孫を）迎えに行くことがあります。いくら保育所があってもすぐに親が迎えに行けるような社会状態ではありませんので、学童しかり、母になるなら流山というのであれば中身の部分も考えてほしいです。

A　市

仰ることはよくわかります。皆さまの声を伺って考えていきたいと思います。ただ、お子様の病気のこと、健康のことがありますので、速やかに保護者の方にご連絡するという方針はご理解いただきたいと思います。

すぐに保護者の方が来られない場合は、保育所にお休みする場所がありますので、そちらで休ませたり、けがの場合は病院に連れていくといった対応をしております。

Q　市民

３年前に運転免許証を返納しましたが、私の周りには９０歳くらいになっても奥さんの病院の送り迎えや買い物に車を使わなければならない人がいます。都内ではバスの割引やタクシー券などがありますが、免許証を返納しやすいように何かしていただければと思います。

A　市

高齢者には免許証を返納される方も多くなっており、新聞などを見ますと高齢者の事故も多くなっているようですので、来年の４月から７５歳以上の方を対象にぐりーんバスの運賃を半額にする予定です。

（「この辺はぐりーんバス通っていませんよ。そんな話したって何の役にも立ちませんよ。タクシー券くれるとか、そういう具体的な話だったら「ああーありがたい」って思うけどね。」との声あり）

（「向小金は走ってますけどね。」との声あり）

（「現実的に（免許証を）返したくても、病院とか買い物のために返納できない人いっぱいいるんですよ。当然これからね、市として少しでもやりやすい形を考えていくのかということを聞きたいんですけどね」との声あり）

Ａ　市

福祉の世界では福祉タクシーなどがありますが、公共交通を利用できる高齢者の方が増えているところ、今はバス路線の維持が大変なんです。都内は運転手の不足が深刻化していますので、都内が賃金を上げ、郊外の運転手が都内へ行ってしまうと、間もなく非常に厳しい状態が訪れます。

高齢者の方ができるだけ安心して生活できるためには公共交通バスがある一定の頻度で利用できるべきだと思いますが、現実には、まずは維持することが優先です。今後、バス路線の事業者から値上げや減便・廃止の話が出てくると思いますが、市としては何とか現状維持していただくようにお願いしたいと考えています。

Ｑ　市民

広報ながれやま１０月１日号において、来年から剪定枝のごみの出し方が従来の形に戻るということでご努力に感謝いたします。

１２月１６日、札幌においてスプレー缶の大事故が起こりました。新聞の記事を見ますと「カセットボンベ・ガスライターは必ず中身を使い切って捨ててください」とあり、ＮＨＫのニュースでは「（スプレー缶に）穴を空けるのか、開けないのかは自治体によって違う」とありましたので、流山市では穴を空けて捨てるのか教えてください。

Ａ　市

北海道の事件は屋内でスプレー缶に穴を空けたというもので常識的には考

えられない話ですが、流山市では中身を使い切って出していただければ穴空けは不要です。

Q　市民

大相撲の世界で、阿炎（あび）という若手のお相撲さんが流山南高校の出身と聞いています。

常磐線沿線のうち甲子園に出ていない市は流山市だけだと思います。ひとつ夢なのですが、県立高校に体育学科を増設いただき、甲子園を目指すような野球チームを作っていただければと思います。

A　市

阿炎（あび）さんは、十両に昇格したときに「これからも頑張りたい」と挨拶にきてくれました。

是非、流山の高校から甲子園に出てほしいと思っています。ただ、体育学科の創設については県が決めることです。また、スポーツ学科というものは流山南高校にありますが、野球部に特化しているわけではありません。中学時代に野球部で活躍した生徒に、おおたかの森高校へ入学していただき、甲子園を目指してもらえるよう努力したこともありますが、なかなか難しいものがあります。

ただ、押本さん、村田さんという南部中学校出身の（元）プロ野球選手がいます。最近では船越さんという選手も流山出身です。是非見守ってください。

A　市

皆さんのお手元に流山の水道水を配付していますが、先日の市民まつりでミネラルウォーターと並べて飲んでいただいたところ「水道水のほうがおいしい」という方のほうが多かったです。是非飲んでみてください。（ＰＲ）

Q　市民

以前、タウンミーティングにおいて２件の意見を伝えました。

１件は、常磐線の線路の階段をゆるやかにできないかという話です。市の回答は「国で定めた傾斜２６度の基準を満たしているので問題ない」とのことですが、実際には４０度、４５度くらいの傾斜です。

もう１件は、線路沿いの１５０ｍ程の細い道に防犯灯を付けてほしいという話です。こちらも「警察に痴漢の発生状況を確認する」という回答でしたが改善されていません。２件とも却下になったのですか。

Ａ　市

ご指摘の人通橋の階段部の勾配は２６度以下です。もし、現在より緩やかにする場合はそれだけ階段部の距離が長くなるため用地が必要ですが、人道橋の付近は道路用地ではありませんので難しいと考えています。

また、防犯灯の設置については自治会からの要望に基づき検討しておりますが、以前にご要望されているとのことですので、再度確認をして連絡させていただきます。

Ｑ　市民

名都借跨線橋に手すりを付けてほしいと要請しましたが「安全上の理由により付けられないので片側通行で我慢してください」と言われました。

危険だから手すりを付けてほしいのです。軟弱な構築物でもあれば安心できるのですが、設置できませんか。

Ａ　市

手すりの設置については、事業者に直接現地を確認してもらいました。

その結果、本体の強度は大丈夫なのですが、手すりの接続部分が人の体重に耐えられず取れてしまう可能性が高いため、安全を保証できないとのことでした。なお、登山用のロープやチェーンを設置してほしいという要望もいただきましたが、それは登山をされる健脚な方が使用するものであり、手すりを必要とする方に対しては危険があると思います。

片側には手すりを設置していますので、申し訳ありませんが、譲り合って安全に利用いただければと思います。

Ｑ　市民

文部科学省は、平成２８年度に「学校支援地域本部」を終えて現在は「学校地域共同本部」に変わっているはずですが、市の文書は未だに文部科学省が学校支援地域本部をしていると誤解されるような書き方をしていますので整合性がとれるよう見直しをお願いします。

A　市

学校支援地域本部については、平成３１年までに全中学校に設置できるよう計画してきましたが、途中から名称が変わりましたので、整合性がとれるようにしたいと思います。

Q　市民

平成３０年４月から道徳教育が教科書になりましたが、車のあおり運転は道徳をおろそかにした結果だと思います。昔は地域の人たちが叱ってくれて本当の意味のコミュニケーションがとれていましたが、今はそうではなく、自治会長は大変な思いをしていると思います。市長、副市長には、定期的に自治会を周ったり、地域の人たちを労っていただきたいと思います。

また、流山市役所の受付の職員は完璧なあいさつですが、流山鉄道の駅員さんにもあいさつすべきです。

優しい言葉は言いません。優しさは時に罪となりますから。これからも叱咤激励していきます。